



this month
HighLight
今月の注目 **2**

平成23年度榛原地区 北地域小学校音楽発表会

小学4～6年生が集い
歌声と合奏を発表し合う

町内各小学校の4～6年生が集い、合唱と合奏を披露し合う「北地域小学校音楽発表会」は10月6日、文化会館ホールで開かれました。この発表会は榛原地区教育協会が主催しており、**1**子どもたちが各校の代表としての自覚を持ち練習してきた成果を発表する**2**他校の子どもたちと交流を図りながら、より質の高い合唱・合奏を学び合う**3**合唱・合奏を通して喜びや充実感を味わうなどを目的として毎年開かれている催しです。

榛原地区教育協会の松本晴巳副会長は階に先立ち、「みんなの歌声が多くの人々の心を支えることにつながります。これまで練習してきた成果を精いっぱい出し切って、今日が最高の合唱・演奏となるよう頑張ってください。期待しています」と子どもたちに激励のメッセージを送りました。

東日本大震災へのエールを込めた曲多く
全員合唱の「ふるさと」を

全児童で歌った後、各学校の発表へと移りました。発表を告げる館内放送が流れると、緊張した表情の子どもたちが列を成して舞台へと上がります。各学校の代表児童が曲目の説明を終えると合唱と合奏が始まりました。

今年は、本川根小の「愛の星地球」や中央小の「世界がひとつになるまで」などに代表されるように、東日本大震災の被災地へのエールを込めた曲が多く聞かれました。被災地では、被害に遭った82ある小学校のうち、授業などを再開できたのはわずか6校ほどといえます。今なお不自由な暮らしを強いられている人たちが大勢いるのです。

会場いっぱい響き渡る声で歌う子どもたち。その表情からは「被災地に届け」と言わんばかりの気持ちが込められているようでした。駆けつけた保護者や来賓らは、真剣に歌い演奏する子どもたちに、惜しみない拍手を送りました。精いっぱい歌いきり、演奏しきった子どもたち。どの顔にも、やり遂げた充実感があふれていました。

「高らかな歌声と明るい笑顔で人々を元気付けよう」

